

海外研修報告

タイ王妃72歳誕生祝賀催事 「全日本大学選抜バレーボール国際 試合」に参加して

スポーツ・パフォーマンス系
助手 濱田 幸二

はじめに

2004年7月19日から23日までタイ国（以下タイと称す）はバンコク市で行われました「タイ王妃72歳誕生祝賀催事バレーボール国際試合」に、全日本大学選抜女子バレーボールチームの監督として参加してきました。この国際試合は、近年力を付けてきている（ユニバシアード大会でもベスト4に入る）タイが、国内の競技力向上を主な目的とし、全日本大学選抜女子チームを招待し、タイ内の大学トップチーム（タイ国では、企業チームより大学チームがトップレベルであり、ナショナルチームも大学生が主力として占めている。）と、公式戦を行うものでした。また、タイでは女子バレーボール競技が国内トップ3に入る人気競技で、連日テレビ放映や新聞報道等大変盛り上がった大会でした。

対戦相手は、4大学 (Sripratum Univ. Rattanbandit Univ. Srinakharin Wirrote Univ. Bangkok Univ.) の4戦を行いました。

今回の海外遠征は、全日本大学女子チームにとって、ユニバシアード（2005）に向けた強化策の一環で、国際経験を積ませることも目的となっていました。選抜された選手の中には、海外遠征が初めてという選手が数名おり、「文化」、「食事」、「練習環境」等、様々な日本と違った環境下で自分のパフォーマンスを発揮する訓練の場でもありました。従いまして、日本から日本食等は一切持っていかず、「現地のもので生活する」を基本に遠征を行いました。

1. コーチングスタッフ及び選手

全日本大学選抜女子チームの選手及びコーチ

グスタッフは、平成15年度から各大会において選考され、最終的には平成16年5月上旬の全日本大学バレーボール連盟強化委員会において決定されました。また、エントリー締め切り直前に、予定していた数名の選手が怪我で参加できない事態が発生しましたが、ポジション等を鑑み最終12名を選考しました。

団 長：成田 明彦（東海大学：監督）

監 督：濱田 幸二（鹿屋体育大学：監督）

コ ー チ：中西 康己（筑波大学：監督）

トレーナー：麻生 敬（(有)アスレティック・リファレンス）

帯同国際審判：代居 正巳（塩田工業高等学校：国際審判員）

選 手：（以下12名、学年は2004年7月時点）

1 小野 愛（中京女子大学4年 ミドルブロッカー 178cm）

2 富永 真美（福岡教育大学3年 ミドルブロッカー 177cm）

3 秋山 美幸（青山学院大学2年 セッター 163cm）

4 佐藤 絵美（鹿屋体育大学2年 セッター 170cm）

⑤* 原田 美樹（福岡大学4年 スーパーエース 176cm）

6 板垣 紘子（東北福祉大学3年 ウィングスパイカー 185cm）

9 平井香奈子（筑波大学2年 ミドルブロッカー 181cm）

11 都築有美子（中京大学3年 ウィングスパイカー 176cm）

12 徳川 恵理（鹿屋体育大学3年 ミドルブロッカー 177cm）

13 澤島 文子（筑波大学1年 ウィングスパイカー 178cm）

14 坂下麻衣子（武庫川女子大学2年 ウィングスパイカー 179cm）

16 岩波 希恵（東海大学4年 リベロ 169cm）

*⑤はキャプテン

2. 事前国内合宿

今回の国際大会に向けて、国内で事前強化合宿を下記のように行いました。

平成16年7月14日(水)~17日(土) 於: JT (兵庫)

7月14日11時に集合して全体ミーティングを行い、午後から早速練習へと入っていきました。以降17日午前中まで最終合宿を行い、昼過ぎに関西国際空港に向け出発しました。3泊4日と短い期間ではありましたが、VリーグチームのJTマーベラスとゲームを中心に合宿を行いました。この短い時間の中で、チームを作り(選手の役割分担と約束事の決定・徹底)を行い、タイで行われる国際試合で勝利しなくてはなりません。選手個々の能力を見極め、これまで学生選抜の課題である「ジャンピングサーブとバックアタックの技術の運用」、「バレーボールの男子化」を選手に浸透させる合宿でした。

また、中心的な選手を主将の原田(スーパーエース)にし、この原田に如何に多くスパイクを打たせるかを、このチームの課題にして、サーブレシーブのフォーメーションの確立、コンビネーション攻撃の多様性、スパイクレシーブからの攻撃、セッターのファーストタッチからの攻撃等々、チームとしての約束事を決め合宿を進めていきました。

SA	WS	MB
MB	WS	S

Li

図 スターティング・ポジション

SA: スーパーエース(セッター対角に配置し、バックに廻ったときはバックアタックを多用する超攻撃的なスパイカー)

WS: ウィングスパイカー(リベロと共にサーブレシーブの要となり、守備的も器用にこなせるスパイカー)

MB: ミドルブロッカー(ネットのセンター付近に位置し、相手攻撃をブロックする。また、速攻に参加するスパイカー)

S: セッター(リベロ以外のスパイカー4人を操る。コンビネーション攻撃の中心選手)

Li: リベロ(レシーブ専門の選手、今回はMBがバックに廻ったときに交代でコートに入るようにした)

3. 大会期間

競技日程は、7月19日タイ王妃72歳生誕記念式典の後開幕を迎えました。

7月19日(月)

第1戦

日本 3 (25-18.25-19.25-18) 0 Sripatum Univ.
スターティングメンバー

5 原田 美樹	13 澤島 文子	12 徳川 恵理
9 平井香奈子	11 都築有美子	3 秋山 美幸

リベロ16 岩波希恵
メンバーチェンジ: 9平井 1小野 11都築 14坂下

大会初日の相手は、Sripatum Univ. でした。タイ独特のリズムに乗った大応援(タイムアウト時に隣の選手の声が聞こえないほどヒートアップ)によって、日本は出だし過度の緊張がみられました。しかし、セッター秋山の安定したトスから、原田を中心とした攻撃で徐々にリズムを取り戻していき、中盤まで競っていた点数も20点前から引き離し1セット目を奪取しました。2セット目以降は、会場の雰囲気にもまれることなく、終始ゲームを支配しました。また、セッターを秋山からブロック力のある佐藤に、ウィングスパイカー澤島から荒削りだがパンチ力のある坂下に交代させ、経験と個人能力向上も行うことが出来ました。

アウエー初戦とあって、心配された試合でした

が、宿舎での生活、試合前の練習等で、選手12名は持ち味を十分に発揮し、ストレートで勝利することが出来ました。

7月21日(水)

第2戦

日本3(25-13.25-12.25-20)0 Rattanabandit Univ.

スターティングメンバー

5原田 美樹	13澤畠 文子	12徳川 恵理
9平井香奈子	11都築有美子	3秋山 美幸

リベロ16 岩波希恵

メンバーチェンジ:

3秋山 4佐藤 9平井 2富永 11都築 14坂下

3セット目スターティングメンバー:

12徳川 1小野 11都築 14坂下

2戦目はタイ No.1チームの Rattanabandit Univ.との対戦でした。メンバーにはナショナルチームのレギュラーが入り、速攻中心の粘り強いチームでした。

日本は初戦を戦ったメンバーを中心に、必勝態勢で望みました。1セット目出だしから安定した都築のサーブプレシーブから、両センター徳川、平井がポイントを重ね、また、ラリー中には原田が豪快にバックアタックを決めるといった理想的な展開で圧勝しました。続く2セット目も勢いは衰えることなく奪取しました。3セット目は、徳川に交え小野を、都築に交え坂下をスタートから起用し経験を積ませることも出来ました。緊迫した公式戦において、交代で入った小野と坂下は、力を遺憾なく発揮し、3セット目も取りストレートで勝利することが出来ました。

7月22日(木)

第3戦

日本3(25-17.25-19.25-14)0 Srinakharin Wirote Univ.

スターティングメンバー

5原田 美樹	13澤畠 文子	12徳川 恵理
9平井香奈子	11都築有美子	3秋山 美幸

リベロ16 岩波希恵

メンバーチェンジ:

3秋山 4佐藤 13澤畠 14坂下 9平井 1小野

3戦目も日本は勢いを大事にするために、1・2戦目と同じ布陣でスタートしました。相手は速攻を中心とし、サイドからもエースがクロスヘスパイクしてくる攻撃型のチームでした。しかし、守備面では日本が数段上で、ラリーに持ち込めば必ず勝てると想定してました。

試合は、こちらの予想通り堅実な守りで日本がペースをつかみ、1セット目を取ります。2セット目は大応援団の中、タイチームにも勢いが出てきて、中盤まで一進一退の攻防が続きますが、澤畠のジャンピングサーブでポイントを重ね連取します。3セット目は、原田のバックアタックを中心とし、序盤から終始リードし、タイを圧倒しました。

初めての体育館ではありましたが、澤畠を筆頭に全選手サーブが効果的に決まり、当初のチームコンセプトである「ジャンピングサーブとバックアタックの技術の運用」が、公式戦で使えるようになってきたと感じられました。

7月23日(金)

第4戦

日本3(25-21.25-9.25-16)0 Bangkok Univ.

スターティングメンバー

14坂下麻衣子	9平井香奈子	5原田 美樹
4佐藤 絵美	12徳川 恵理	11都築有美子

リベロ16 岩波希恵

メンバーチェンジ:

4佐藤 3秋山 14坂下 13澤畠 12徳川 1小野

2・3セット目スターティングメンバー:

3秋山 4佐藤 14坂下 13澤畠

タイでの最終戦は、バンコク市内にある Bangkok Univ. のホームで行われました。タイで Bangkok Univ. は名門大学で、バレーボールも盛んに行われていました。

この最終戦は日本にとって、4戦全勝し「ユニバシアードへ向けての強化」を図らなくてはならない大事な一戦と位置づけていました。短時間ではありましたが、合宿や試合を通して「ジャンピングサーブとバックアタックの技術の運用」、「バレーボールの男子化」をコンセプトでやってきた成果を挙げなくてはなりません。また、次につながる戦い方をしなくてはなりませんでした。

1セット目今大会初めて、ブロック力のあるセッター佐藤を起用しました。日本は出だしから都築のジャンピングサーブで4 - 0リード、原田のバックアタック、坂下のオープン攻撃、平井のブロック、徳川の速攻とポイントを重ね、そのまま走りセットを取ります。2・3セット目は、セッターを秋山に戻し、守備力をアップさせ、チーム力を安定させました。2セットともタイに付け入る隙を与えず、この試合もストレートで勝利することが出来ました。

1戦目から4戦目まで、選手12名が高い意識のもと、戦ってくれたと思われます。一つの行動に対して、準備する心構えが出来ており、試合に集中して戦うことが出来たと思われました。

5. まとめ

本学女子バレーボール部は平成16年度強化指定団体となっていました。その様な状況の中で強化コーチがチームから離れ、ナショナルチームのスタッフに参加させていただき、関係各位には感謝申し上げます。今後は、この経験を本学で生かすよう努力していきたいと思ひます。

また、特に今回は「プレイヤーズ・ファースト」を念頭に置き、コーチングを行ってきました。これは選手を甘やかすのではなく、その選手が練習や試合時において、ピークパフォーマンスを発揮できるように、スタッフが一致団結して取り組む

ことです。選手育成及びチーム強化に即効性はありませんが、短い時間の中で、今回全勝（全てストレート勝ち）出来たのは、最高のスタッフが居たからに他なりません。感謝申し上げます。

また、今後この様な経験を生かして、世界で通用する選手育成が出来るよう、指導（コーチング）や研究活動を行っていきたく思います。



写真1) 練習会場での休憩(気温38度 湿度80%超)



写真2) タイ王妃生誕記念式典後 記念撮影



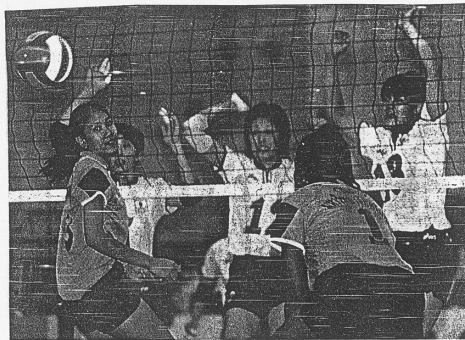
写真3) 試合前の集合写真



写真 4) 試合風景

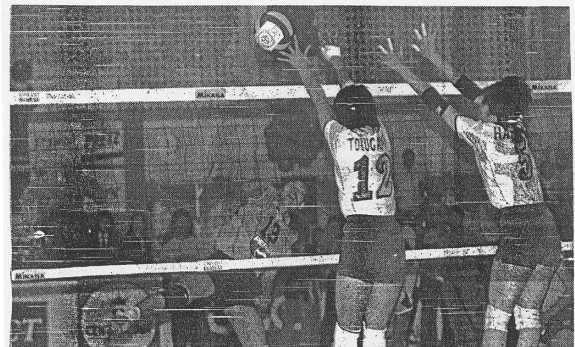


写真 5) セット間での指示風景



ซาอุญญะ วาสนา เล็ดเสน และ จารุณี สารนอก 2 นักตบคู่ของสาว ม.ศรีปทุม ได้แชมป์หญิงชายคู่คิล-
บิลด์ 3 สาว มหาวิทยาลัยสุโขทัย ก่อนจบเกมสาวปาดสินเลาชนะ 3 เซตจาก 1 ในการเล่นวอลเลย์บอล โยธินแลนด์
มหาวิทยาลัยสุโขทัย ครั้งที่ 2 ที่ศูนย์กีฬาในร่ม ม.ศรีปทุม เมื่อ 19 ก.ค. 47

添付資料 1) 現地新聞報道 1



วอลเลย์บอลคู่คิล... การแข่งขันกีฬาวอลเลย์บอลคู่คิล... ครั้งที่ 2 เป็นการแข่งกันระหว่างทีมโรงเรียนเปิดสอน
ระหว่างโรงเรียนสุโขทัยและปทุมธานี ครั้งที่ 1 กับทีมวอลเลย์บอล (หญิง) ในมหาวิทยาลัยสุโขทัยจากญี่ปุ่น ผลทีม ม.โลก
ญี่ปุ่น ชนะ 2-0 เซต ณ อาคาร ศร.สุฯ ม.ศรีปทุม

添付資料 2) 現地新聞報道 2

大学女子・第二次合宿について (JT 合宿及びタイ遠征)

日程	7月14日 (水)	7月15日 (木)	7月16日 (金)	7月17日 (土)	7月18日 (日)
6:30					
7:00		朝練	朝練	朝練	
7:30		食事	食事	食事	食事
8:00					
8:30		ストレッチ・W-UP	ストレッチ・W-UP	ストレッチ・W-UP	
9:00		二段トス・カットトス・シー トレシーブ	二段トス・カットトス	二段トス・カットトス	
9:30		ブロック	台上レシーブ	台上レシーブ・ブロック	ホテル発 練習会場(バス移動)
10:00		スパイクコンビ・サーブ	スパイクコンビ・サーブ	スパイクコンビ・サーブ	ストレッチ・W-UP
10:30		JT練習試合(20-25.10-25.25-21)	JT練習試合(9-25.18-25.23-25)	JT練習試合(13-25.17-25.17-25)	自重負荷トレーニング
11:00	選手・スタッフ集合(JT体育館)	1 秋山・徳川・澤島・原田・平井・都築・ Li岩波	1 秋山・徳川・澤島・原田・平井・都築・ Li岩波	1 秋山・徳川・都築・原田・小野・澤島・ Li岩波	ダッシュ等
11:30	全体ミーティング・サイン確認	2 佐藤・富永・澤島・原田・小野・坂下・ Li岩波	2 秋山・徳川・澤島・原田・小野・都築・ Li岩波	2 秋山・徳川・都築・原田・小野・澤島・ Li岩波	
12:00	昼食	3 秋山・小野・澤島・原田・徳川・都築・ Li岩波	3 秋山・徳川・都築・原田・小野・坂下・ Li岩波	3 秋山・徳川・都築・原田・平井・澤島・ Li岩波	食事
12:30		食事	食事	食事・清掃	練習会場発 ホテル(バス移動)
13:00					
13:30	ストレッチ	ストレッチ	ストレッチ		
14:00	W-UP・トレーニング	W-UP	W-UP		
14:30	バス・対人	2段トス・スパイクコンビ	2段トス・スパイクコンビ・台上レシーブ		
15:00	ブロック(ステップ等)	JT練習試合	JT練習試合	JT出発	
15:30	スパイクコンビ	(10-25.16-25.15-25.19-25.20-25)	(15-25.18-25.15-25.24-26.20-25)		ホテル発 練習会場(バス移動)
16:00	1 秋山・徳川・澤島・原田・平井・都築・ Li岩波	1 都築・原田・平井・坂下・秋山・徳川・ Li岩波		二段トス・カットトス・ブロック	
16:30	乱打形式	2 秋山・徳川・澤島・原田・平井・都築・ Li岩波	1 都築・原田・平井・坂下・秋山・徳川・ Li岩波	閑空着	スパイクコンビ1人 2人 3人
17:00		3 秋山・徳川・澤島・原田・平井・都築・ Li岩波	2 秋山・小野・都築・原田・平井・坂下・ Li岩波		乱打形式
17:30	サーブレシーブ	4 秋山・徳川・澤島・原田・平井・都築・ Li岩波	3 秋山・小野・都築・原田・平井・澤島・ Li岩波		
18:00	ダウン・ストレッチ	5 秋山・小野・都築・原田・平井・澤島・ Li岩波	4 秋山・小野・都築・原田・平井・澤島・ Li岩波	出国手続き	食事
18:30	食事	食事	食事		
19:00				19:20出発	
19:30	ウエイトトレーニング	麻生トレーナーの体調チェック			
20:00			休息		
20:30		ミーティング・ノート記入	ミーティング・ノート記入		洗濯
21:00	ミーティング・ノート記入				
21:30					
22:00					
23:00	消灯(就寝)	消灯(就寝)	消灯(就寝)	23時着 タイ入国(日本時間25時)	消灯(就寝)
課題	今回の合宿の意義 健康・体調チェック	セッターとコンビをつくる 二段トスの正確性	コミュニケーションをとる	攻撃で勢いをつける	現地の環境になれる。体調チェック
備考	選手個々人の体調チェック 総合練習の中でポジション適 性を判断 選手12名 スタッフ3名	チーム全体の約束事の確認 チーム作りのコンセプトを理 解する チームワークについて話し合った 選手12名 スタッフ5名	勝敗にこだわり点を取りに行く チーム内の約束事を守る 選手12名 スタッフ5名	最終調整(位置の確認等) ホテル着後就寝は深夜1時を 廻って いた(日本時間27時) 選手12名 スタッフ5名	個人の能力を最大限にゲーム で発揮する 選手12名 スタッフ5名
所感	JT合宿からタイ遠征まで11日間強化合宿が行われました。12名(10大学)が選ばれ、初めてコンビを組む選手も多かったと思いますが、日が経つにつれコミュニケーションもとれ一つのチームになっていったと今回立った選手(印象に残った)としては、セッターの秋山、ライト原田、レフト坂下、センター平井でしょう。秋山は高さはないものの、レシーブ力に優れ、またトスもスパイカー個々人に合わせた「間」を持つ処理に優れ、何とか点数に結びつけるよう工夫しています。また、ブロックの読みも魅力です。今回選ばれたこの12名の選手が、今後自分自身の「不足している部分」を一つでも克服し、また、日本代表として諸外国と戦う選手となって欲しいと思いました。最後になりましたが、選手を派遣していただき				

実施場所：JT 体育館 タイ国バンコク市4大学体育館

報告期間：平成16年7月14日(水)～7月24日(土) 10泊11日

7月19日(月)	7月20日(火)	7月21日(水)	7月22日(木)	7月23日(金)	7月24日(土)
食事	食事	食事 ミーティング	食事 ミーティング	食事 ミーティング	食事・出発 出国手続き
ホテル発 練習会場(バス移動) ストレッチ・W-UP バス・対人・カットトス スパイクコンビ・サーブ 食事	ホテル発 (バス移動) 市内観光 昼食	ホテル発 練習会場(バス移動) ストレッチ・W-UP バス・対人・カットトス・ シートレシーブ スパイクコンビ・サーブ 6人サーブレシーブからの攻撃	ホテル発 練習会場(バス移動) ストレッチ・W-UP トレーニング バス・対人・カットトス・ シートレシーブ	ホテル発 練習会場(バス移動) ストレッチ・W-UP バス・対人・カットトス・ シートレシーブ スパイクコンビ・サーブ 乱打形式	タイ出国
練習会場発 ホテル(バス移動) ホテル発 試合会場(バス移動) 試合会場(Sripatum Univ)着 タイ王妃誕生セレモニー 第1戦 JPN対Sripatum Univ 3(25-18.25-19.25-18)0 1 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 2 秋山・徳川・澤島・原田・小野・ 都築・Li岩波	市内発 (バス移動) ホテル発 試合会場(バス移動) Sripatum Univにて 試合見学	食事 移動 ホテル発 試合会場(バス移動)	食事 移動 ホテル発 試合会場(バス移動) 第3戦 JPN対 Srinakharin Wirote Univ	団長成田先生講話・食事 移動 ホテル発 試合会場(バス移動) 第4戦 JPN対Bangkok Univ 3(25-21.25-9.25-16)0	閑空着 解団式・解散
3 秋山・徳川・坂下・原田・平井・ 都築・Li岩波 移動 Ramkhamheang Univ で食事 ミーティング 洗濯 ノート記入 消灯(就寝) コンデショニングを考える	Wellcome Party 移動 ホテル着 消灯(就寝) 休養	第2戦 JPN対Rattanabandit Univ 3(25-13.25-12.25-20)0 1 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 2 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 3 秋山・小野・澤島・原田・平井・ 坂下・Li岩波 食事 移動 ホテル着・洗濯 消灯(就寝) 一戦目の反省を生かす	3(25-17.25-19.25-14)0 1 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 2 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 3 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 秋山 佐藤/澤島 坂下 食事 移動 ホテル着・洗濯 消灯(就寝) コミュニケーションをとる	1 都築・原田・平井・坂下・佐藤・ 徳川・Li岩波 2 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 3 秋山・徳川・澤島・原田・平井・ 都築・Li岩波 佐藤 秋山/坂下 澤島 食事 移動 ホテル着・洗濯 消灯(就寝) 最終戦で力を出し切る	
会場の雰囲気にも飲まれた が勝利した。 選手12名 スタッフ5名	選手個々人の体調チェック 選手12名 スタッフ5名	チーム全体の約束事の確認 選手12名 スタッフ5名	1点の重みを感じながら プレイする 選手12名 スタッフ5名	今回12名は、この11日間 を評価されている 選手12名 スタッフ5名	選手12名 スタッフ5名
<p>思います。初めての海外遠征を行った選手もあり、当初は心配されましたが、トレーナーの麻生先生をはじめ、中西コーチの指導のもと怪我もなく、海外で充分に力を発揮したと思います。 ているセッターでした。原田はコンビの中でも二段トスでもバックアタックを安定して決められるようになっていました。坂下はまだまだ荒削りですが、高さのあるパンチ力に効いたスパイクを打ちます。平井はネット際のポー した所属チームの部長様及び監督様、宿舎等でお世話になったJT女子バレーボール部様、意を尽くしますがお礼申し上げます。ありがとうございました。</p>					

タイ遠征 監督 濱田 幸二